

やわたの上下水道

第4号
平成27年1月

安全でおいしい 水道水をお届けします

目次

- 【1面】
 - ・雨水貯留施設設置に助成します
 - ・悪質な訪問業者にご注意
 - ・上下水道の整備状況
- 【2・3面】
 - ・平成25年度上下水道事業会計決算状況
 - ・上下水道料金減免のお知らせ
 - ・水道の漏水にご注意を!
 - ・水質に関するQ&A
 - ・鉛製給水管取替について
- 【4面】
 - ・下水道管の長寿命化
 - ・平成25年度雨水貯留施設設置状況について
 - ・雨水タンク設置者アンケート
 - ・公共下水道接続のお願い

平成26年6月1日、水道週間(6月1日～7日)に合わせて、美濃山浄水場にて見学会を開催しました。中央監視棟での運転管理の仕組みや、井戸から汲み上げた地下水を浄化し、各ご家庭に水道水をお届けする過程について学んでいただきました。

上下水道部では、安全で安心な水道水を、日々欠かさずお届けできるよう努めています。

雨水貯留施設設置に助成します

雨水貯留施設とは、雨水の流出を一時的に抑えるために、建物の雨どいから雨水を貯めるタンク(図)のことです。貯まった水は、庭の花や植木の散水等に有効活用できます。

市民の皆さまと協働して取り組むことで、防災・減災が図れますので、設置の検討をお願いします。

※助成を受けるには、事前相談が必要です。購入前に下水道課の窓口にお越しください。



悪質な訪問業者にご注意

最近、悪質な業者の訪問が増えています。市役所の委託を受けているかのように訪問する場合がありますのでご注意ください。不審な訪問業者に対しては、「身分証の提示を求めろ」、「その場ですぐに契約や支払をしない」、「強引な場合やしつこい場合は、警察に通報する」等の対応が考えられます。

上下水道の整備状況

	水道事業	下水道事業
行政人口	73,172人	
給水人口 処理区域内人口	73,157人	73,063人
普及率	99.9%	99.9%

(平成26年3月31日現在)

効率的な事業運営に努めています

上下水道事業の経営状況

八幡市の上下水道事業は、市民の皆さまからお支払いいただいた水道料金や、下水道使用料を主たる財源として、施設の整備、維持管理及び事業運営経費等の費用を賄っています。

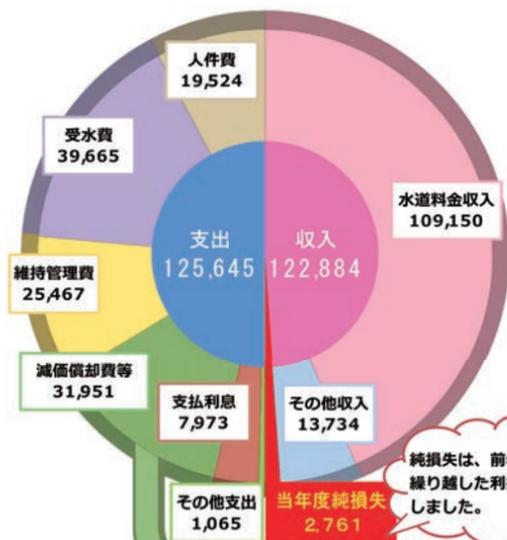
上下水道事業の経営環境については、節水機器の普及や節水意識の高まり、更には人口減少社会を迎えて、ますます水需要の減少傾向にあります。そのため収入が減少しており、人件費など経常経費の削減に、より一層取り組んでいます。今回は、平成25年度の決算状況をお知らせします。



平成25年度水道事業会計決算状況

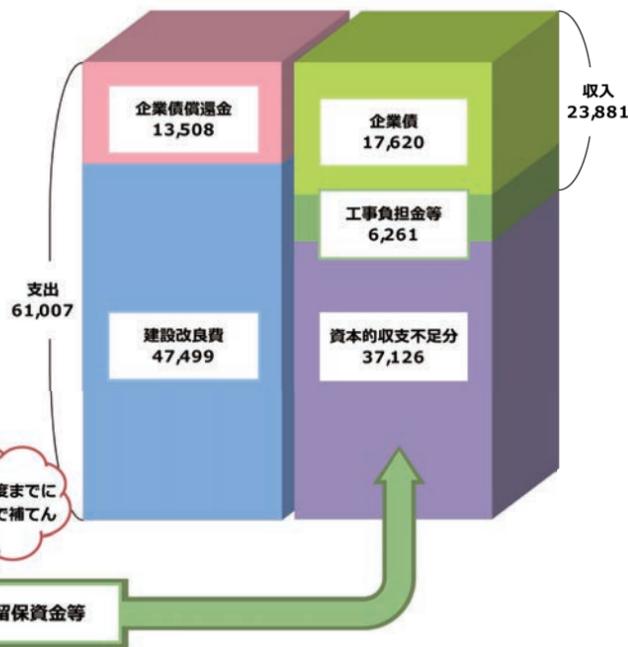
収益的収支 (図1)

(水道事業を運営するために要した経費と財源)
(単位・万円、税込)



資本的収支 (図2)

(水道施設を作るために要した経費と財源)
(単位・万円、税込)



平成25年度収益的収支は、給水収益が減少し、人件費等経費の削減に努めましたが、中央配水池撤去費用や電気料金の値上げなどにより、事業費用が増加したことにより、2,761万円の当期純損失(赤字)となりました。(図1)

水道事業の運営の基盤となる水道施設の整備・改修や借入金の元金の返済金は、減価償却費などで費用化した内部留保資金により財源を確保しています。

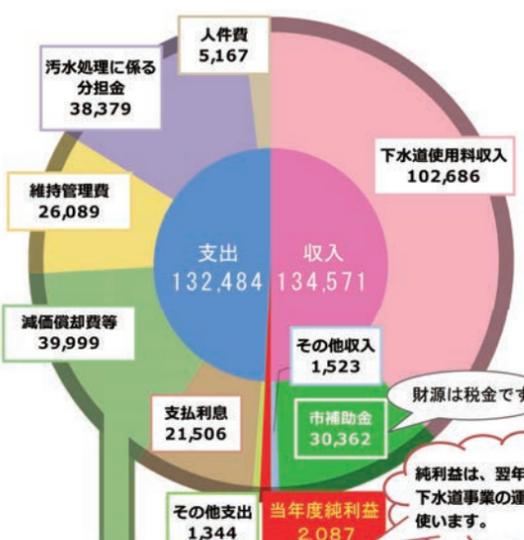
資本的収支では、浄水場の施設整備や西山第1配水場第1号池の耐震補強及び劣化補修工事を行ったほか、男山長沢地区など計2,322.4mの老朽配水管布設替工事を行いました。(図2)

水道事業では、水道水をつくる浄水施設や、市民の皆さまに水をお届けするための配水施設など、多くの施設を所有しています。また、老朽化した施設の耐震化を含めた改良更新に要する経費の増加が見込まれます。そのため、長期にわたって資金が必要となりますことから、積立金や内部留保資金として財源を確保しています。

平成25年度下水道事業会計決算状況

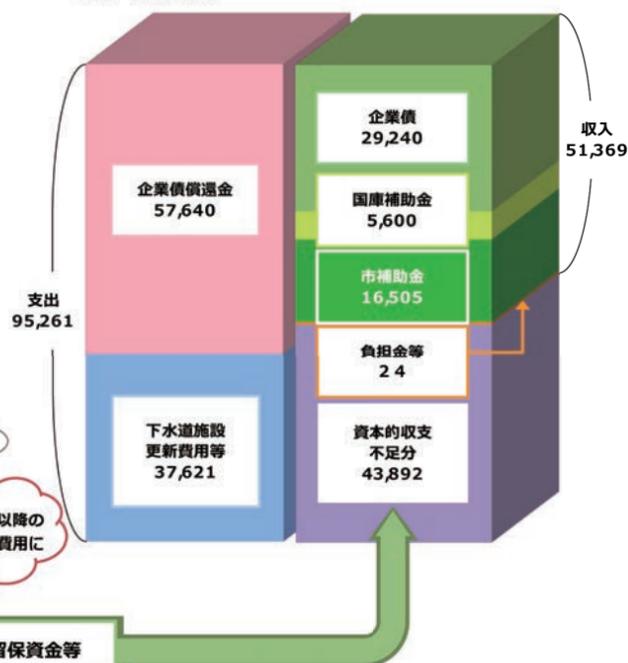
収益的収支 (図3)

(下水道事業を運営するために要した経費と財源)
(単位・万円、税込)



資本的収支 (図4)

(下水道施設を作るために要した経費と財源)
(単位・万円、税込)



平成25年度決算では、下水道使用料収益は、前年度に比べ減少となりました。その一方、維持管理経費や支払利息が減少し、総費用が減少したことにより、2,087万円の当期純利益(黒字)となりました。(図3)

純利益は、翌年度以降の借入金返済に係る費用や維持管理に係る費用の財源として繰越します。

平成25年度は、内里地区において、未普及地区解消のために府道八幡インター線の新設道路整備に関連して、31.6mの下水道管の整備工事を行いました。男山・西山地区においては、下水道管の老朽化に伴い2,215.8mの改築更新工事を行いました。また、国道1号線沿線において、国の歩道整備計画区間の設計業務を行いました。(図4)

今後、老朽化により改築更新の対象となる下水道施設が増加します。多額の資金が必要となることから、積立金や内部留保資金として財源を確保しています。

上下水道料金減免のお知らせ

上下水道事業では、下記の世帯に対し、上下水道料金の減免制度を設けています。該当する方は、印鑑を持参のうえ、水道総務課まで申請してください。

- 一人暮らしの65歳以上の高齢者で市民税非課税の方
- 18歳未満の児童を養育する母子・父子世帯で市民税非課税の世帯
- 特別児童扶養手当を受給している世帯
- 特別障害者手当を受給している世帯

※生活保護法の規定による保護を受けている世帯にあつては、これらに該当していても減免対象外となります。
(生活保護費にあらかじめ水道光熱費が算入のうえ支給されているため)

減免金額(2ヵ月1装置あたり)

水道料金	842円	12㎡以下の基本水量に相当する額
下水道使用料	853円	16㎡以下の基本水量に相当する額の2分の1

水道の漏水にご注意を！

宅内の漏水等についても基本的には水道料金がかかりますので、メーターを確認するなど日常の点検に努めてください。どこも水を使用していないのに、メーターのパイロットが回っている場合は漏水している恐れがあります。蛇口やトイレ等で水が出ていないことを確認のうえ、パイロットが回っている場合は、水道工務課へご相談ください。



水道メーターの見方

漏水による水道料金については、減額できる場合もありますので、詳しくは水道総務課にご相談ください。

Q1 赤水が出る

原因 水道管に発生した鉄さびが原因で、朝一番やしばらく水道水を使用していない時に発生することがあります。また、火災などの消火活動時にも赤水が発生することがあります。

対策 しばらく水を流してから使用してください。このとき排水する水は、掃除や植木・庭のまき水など飲用以外の利用をお勧めします。

Q2 水が白く濁る

原因 この現象は、蛇口から水道水を勢よく出すと蛇口の内部が負圧となり、蛇口の上部から空気を吸い込むため、それが細かな気泡となって白く見えることがあります。また、給湯用の蛇口から出るお湯についても同様の現象がみられ、上記の事由以外にも水の中に溶けている空気の放出が考えられます。

対策 容器に水を入れた際に、下の方から透明になり白い濁りがなくなる場合、原因は空気であり安全性については問題ありません。

Q3 やかん、ポットの内部あるいは加湿器の噴出し口周辺に白い固形物が付着する

原因 水道水には、カルシウム、マグネシウム等のミネラル分が含まれており、水が蒸発するとミネラル分があとに残ります。このため容器を洗ったのち完全に水を拭き取っておかないと、水分の蒸発後に容器の表面に白い斑点ができます。これが繰り返され、幾分厚みのある白い付着物になります。また、やかんやポットを空焚きした時、水の継ぎ足しの繰り返しでこの現象が促進されます。なお、カルシウム、マグネシウム等はミネラル分であり水質異常ではありません。

対策 硬いたわしや布類でこすったりせず、洗剤を使い柔らかいスポンジ等で洗ってください。

Q4 蛇口から白い(緑白色)の異物が出る

原因 湯水混合水栓(シングルレバー)のブレードホース(宅内の給水・給湯配管と水栓を接続する2本のホース)の内面被覆材が劣化し、水流によって剥離して流出したものです。また、伸縮式ホース付シャワー水栓のシャワーヘッド内部に捕捉される場合もあります。

対策 水栓に使用している部品でゴム等の劣化するものは、定期的に交換をお勧めします。



(写真：大阪市水道局提供)

Q6 金属臭がする

原因 水道管に発生した鉄さびが原因で、水道水が滞留すると特に感じる場合があります。

対策 しばらく水を流してから使用してください。このとき排水する水は、掃除や植木・庭のまき水など飲用以外の利用をお勧めします。

Q7 黒色の微細片が出る

原因 止水栓、給水栓に使われているパッキンのゴムが劣化し、栓の開閉操作時に細かく砕けたものです。

対策 早急にパッキン等を交換することをお勧めします。

Q8 風呂場の鏡に白い物質が付着し、拭いても取れない

原因 水道水に含まれるカルシウム、マグネシウム等のミネラル分が蒸発し、白い物質となり残ったものです。

対策 一度付着すると取れにくいので、こまめに拭き取る必要があります。

水質に関する

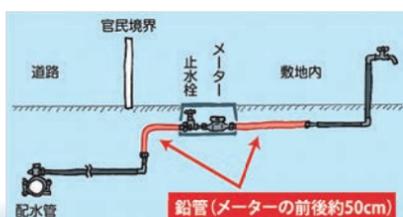
Q&A

水道水の水質について、本市に寄せられるご質問をまとめました。

鉛製給水管取替について

一部のご家庭の給水管には、水道メーターの前後約50cmに鉛製給水管を使用しているものがあります。現在の水質基準は、毎日飲んで健康に問題ない基準値として、国が定めたもので、通常では問題ありませんが、鉛製給水管は漏水の原因となることがあります。

給水管は、個人の財産で維持管理も個人で行っていただく必要がありますが、漏水防止の観点から、市では平成25年度から計画的に取替工事を行っています。工事にあたっては、メーターの前後を掘り起こす作業が必要になりますので、工事説明のため八幡市シルバー人材センターが順次訪問させていただきます。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



鉛製給水管取替工事後の復旧について

メーターの前後を掘り起こした後の復旧は、コンクリート復旧(写真)までとなります。タイル等で装飾されている場合、市の負担で元と同じようにタイル等を復旧することはできません。タイル等で再び装飾される場合の復旧費用は個人負担となります。

施行例



安全で安心な下水道事業を推進します

下水道管の長寿命化

下水道管が老朽化すると、破損や継手のずれが生じ、道路陥没の発生や排水機能が失われる恐れがあります。老朽化による影響を未然に防ぐため、改築更新を行う必要があります。

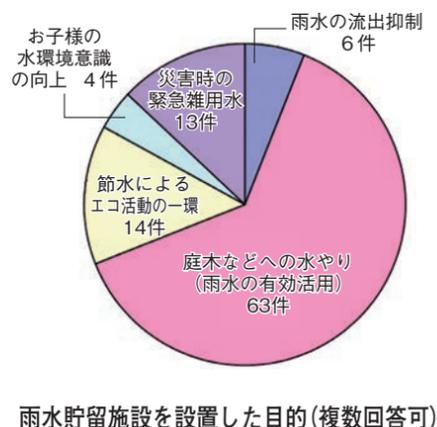
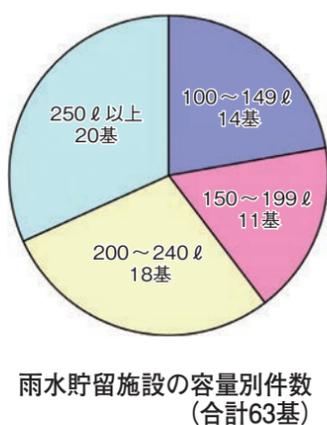
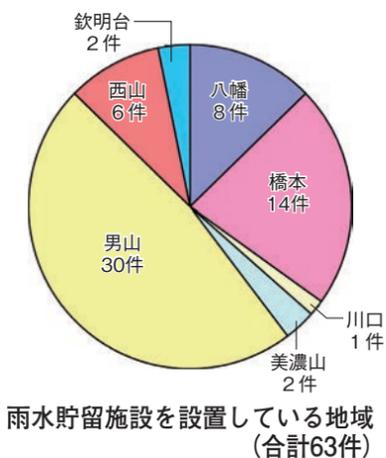
現在、老朽化が進行している下水道管から順に改築更新工事を進めており、平成25年度末までに19.2kmの下水道管(汚水)の改築更新工事を行いました。今年度の工事では2.1kmの改築更新工事を予定しています。

改築更新は主に更生工法と呼ばれる工法で施工しています。更生工法とは古くなった管の内面に新たな管を構築する工法で、道路の掘削を伴わずマンホール部分から施工できるため、従来の工法よりも道路交通への影響を抑えることが可能になりました。

更生工法により改築更新した施工前後の下水道管内写真



平成25年度 雨水貯留施設設置状況について



公共下水道接続のお願い

公共下水道は、川や海などの自然環境を守り、衛生的なまちをつくるために重要な役割を担っています。公共下水道の供用が開始されている地域で、下水道に接続されていない方は、速やかに接続工事を行うようお願いいたします。

排水設備の接続工事は、八幡市下水道排水設備指定工事業者でないと行うことができません。市ホームページに掲載しております指定工事業者一覧をご確認の上、工事のご依頼をお願いいたします。

雨水タンク設置者アンケート



橋本 K宅 タンク容量 120ℓ
購入先 ホームセンター 設置 自分で
家の前にある畑の水やりで使用しています。水道水を使わずに水やりが出来るので助かっています。溜まった水を畑まで運ぶのが少し大変なので、水を汲みあげるポンプがあったら助かります。
我が家だけでは少量ですが、流出する雨水が少しでも減ればと思っています。



八幡 H宅 タンク容量 150ℓ
購入先 インターネット 設置 自分で
他県に住んでいる娘が設置しているのを見て、設置を決めました。庭木や家庭菜園の水やりで使用しています。
思ったよりもタンクに水が溜まるので、節水効果が期待でき、水やりを楽しんでいます。もう1台設置したいと考えています。



西山 O宅 タンク容量 168ℓ
購入先 工務店等 設置 業者に依頼
溜まった雨水は庭木の水やりとメダカの水槽に使用しています。設置して良かったと思いますが、もう少し大きなタンクを買ったら良かったです。水道代が少しだけ減りました。
メダカにもカルキの入っていない水が使用出来るので良いと思います。
災害時にはトイレ排水などに使用したいと思っています。環境保全に対する助成制度がもっとたくさんあったら良いかと思っています。



橋本 I宅 タンク容量 200ℓ
購入先 ホームセンター 設置 自分で
溜まった雨水は庭木の水やりで使用しています。設置も簡単に出来て、たくさん雨水が溜まるのでとても助かっています。溜まった雨水を他の手作りしたタンクに分散して溜めています。タンク内の清掃が少し大変ですが、設置して良かったです。
以前から浸水被害に対しては気になっていたため、少しでも側溝に雨水が流出する量が減ればと思っています。
地中に埋める雨水浸透ますの設置がもっと手軽にできたら雨水の流出抑制に役立つのと思います。